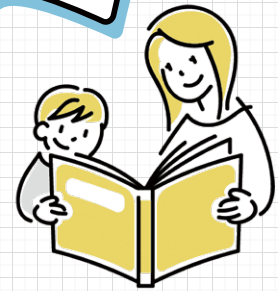


reader survey  
reader survey

広報しばやま

13~92歳  
111人に調査!

皆さんの  
意見を  
徹底分析



読者のホンネ

最も割合が高かった年代は「70~80代」

90%

70~80代の13人中12人が、毎月欠かさず全ページを読んでいるという結果になりました。

最も割合が高かった年代は「10~20代」

62%

10~20代の方は、SNSやホームページから町の情報を入手している方が多くいました。

広報  
読んでいる人  
約56%

広報  
読んでいない人  
約44%

どの記事に注目してる?

- 1位 行事などの写真
- 2位 あとがき
- 3位 町の人口

注目記事1位は行事などの写真。子どもたちの姿や、明るい話題に元気をもらおうとの声がありました。他には、健診のお知らせをよく見るという方が多くいました。

難しい表現(言葉)が多いと感じる

18.3%

行政で使われる専門用語などは難しく理解しにくいと感じる方が多くいました。

文字が多すぎると感じる

10.2%

「文字が多いと気が進まない」など、読まない理由につながっていると考えられます。

地元食材を使ったレシピが見たい!

観光情報をもっと載せてほしい!

町民の皆さんのご意見  
こんな記事が読みたい!



イベント情報を詳しく知りたい!

人口増加につながる魅力発信を!

今までよりも  
読みやすく

# 広報しばやま 3つの変化

皆さんからの意見をもとに表現が変わった部分をご紹介します！

## 広報以外の情報発信

### ① twitter



町ホームページと連携しているので、フォローすると町からのお知らせが届きます。また、災害時は避難情報などを即時発信します。

### ② facebook



幅広い年齢層の方が利用しているフェイスブック。ページに「いいね」をすると、Twitterと同様に町からのお知らせが届きます。

### ③情報メール



防災防犯情報や町からのお知らせをメール配信しています。QRコードを読み取り、表示されたURLから登録してください。

## 1 誰に向けた情報が分かりやすくなった！



「町からのお知らせ」のアイコンを、文字から世代別のイラストに変更し、「〇〇の方」「〇歳の方」と記載するなど、誰に向けた情報が一目で分かるようになりました。

## 2 難しい言葉や回りくどい表現は使わない！



外国籍の方や小さな子どもでも読みやすい文章で記載します。  
(例：難しい言葉)  
還付する→返す  
(例：回りくどい表現)  
調査を実施する→調査する

## 3 写真やイラストを使って読みやすい記事に！



文字ばかりで読みにくい記事にならないよう、見開きページ内に必ず写真かイラストを入れるようにしました。  
また、複雑な内容は表を使って分かりやすくしています。

column

## やさしい日本語とは？

やさしい日本語とは、普段使われている言葉を誰でも分かるように配慮した簡単な日本語のことです。

阪神淡路大震災の際、多くの外国籍の方が日本語を十分に理解できず、被害を受けました。そこで、日本語が不慣れな人もすばやく的確に情報を伝えることを目的としてやさしい日本語が生まれました。

外国籍の方への情報伝達を目的に生まれたやさしい日本語ですが、普通の日本語より簡単で、分かりやすい言葉に変換されていることから、小さな子どもや高齢者、障害を持った方などにも有効だといわれています。

広報しばやまでも、さまざまな年代や国籍の方に町のお知らせを的確に伝えるため、今月号からやさしい日本語を多く取り入れています。

やさしい日本語に正解はなく、文章以外に会話でも活用できます。皆さんも文章を書いたりと話す際は、相手の立場を思いやる「やさしい日本語」を活用してみてください。